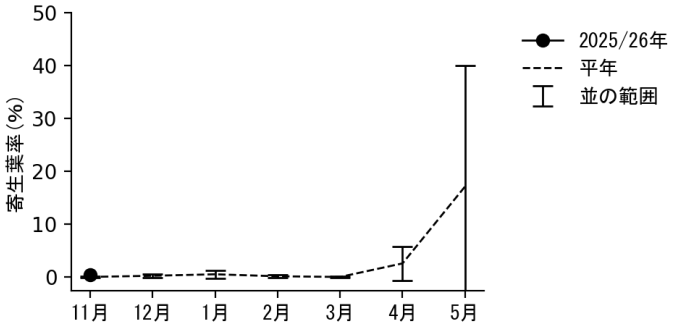
令和　7 年度　12 月予報

作物	とうがん(施設・立体栽培)		地域	宮古群島
病害虫名	① ハモグリバエ類			
調査結果	11 月の発生量（平年比）	やや多		
予報	11 月からの増減傾向	→		
	12 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）		

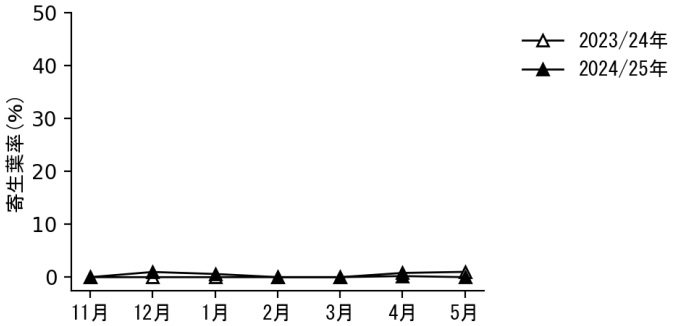
調査結果

寄生葉率の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生施設率20.0%（平年：3.4%）

防除のポイント

・発生源となる施設内外の雑草除去に努める。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・幼虫期間が短いため、葉面に産卵痕や食害痕が見え始めたら防除を開始する。
・防除効果は幼虫の体色で判断する。生存時は黄色で死亡すると黒変する。

幼虫の死骸
（農薬などで死亡すると黒色に変色）